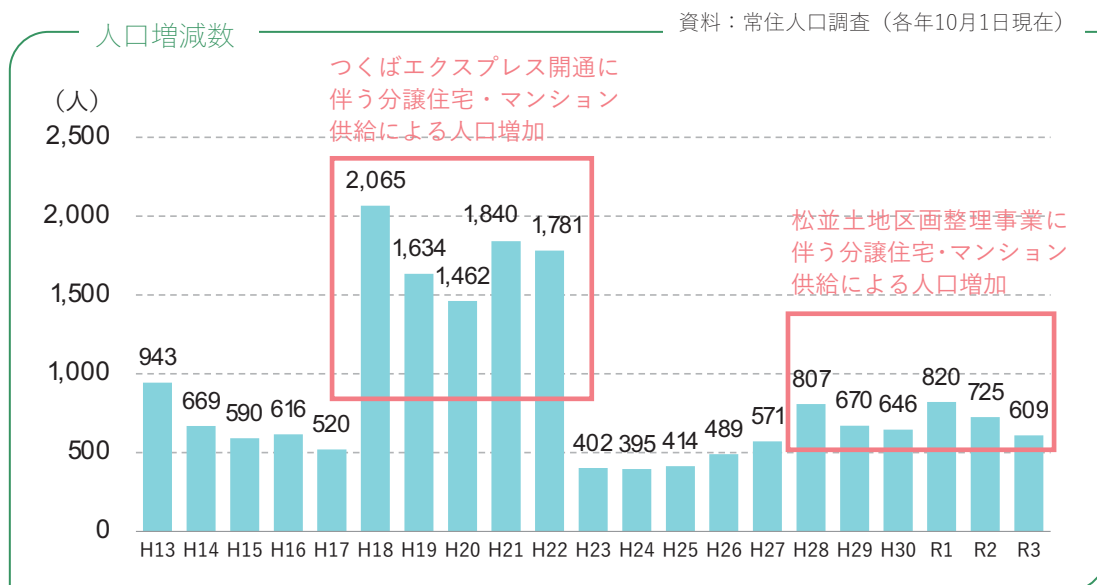
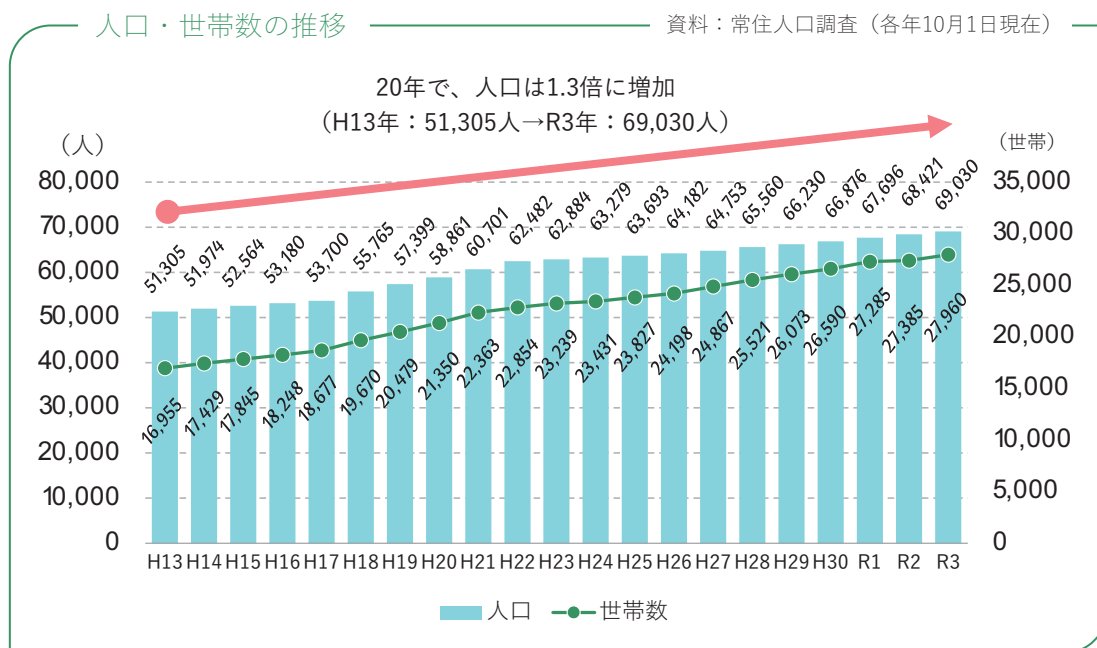




01 人口の現状

1 人口の推移

本市では、つくばエクスプレス開通や松並土地区画整理事業に伴う分譲住宅・マンションの集中的な供給増加による人口増加基調が続いており、20年の間に、1.3倍に増加しています。



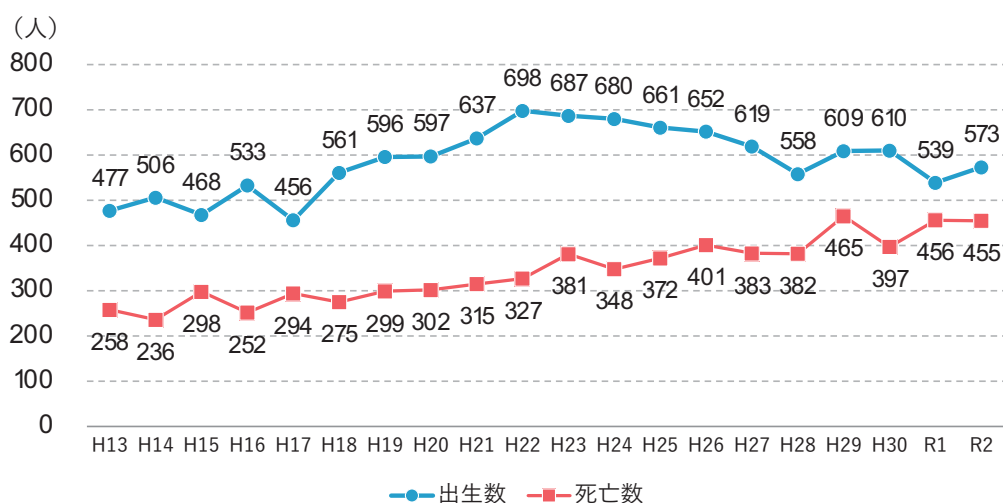
2 自然動態の状況

本市の出生数、死亡数の推移は、一貫して出生数が死亡数を上回っており、人口の「自然増」が継続しています。

合計特殊出生率^{*}は、平成 30 年に 1.52 とピーク値となりましたが、令和元年に 1.32、令和 2 年は 1.41 と横ばい傾向にあります。

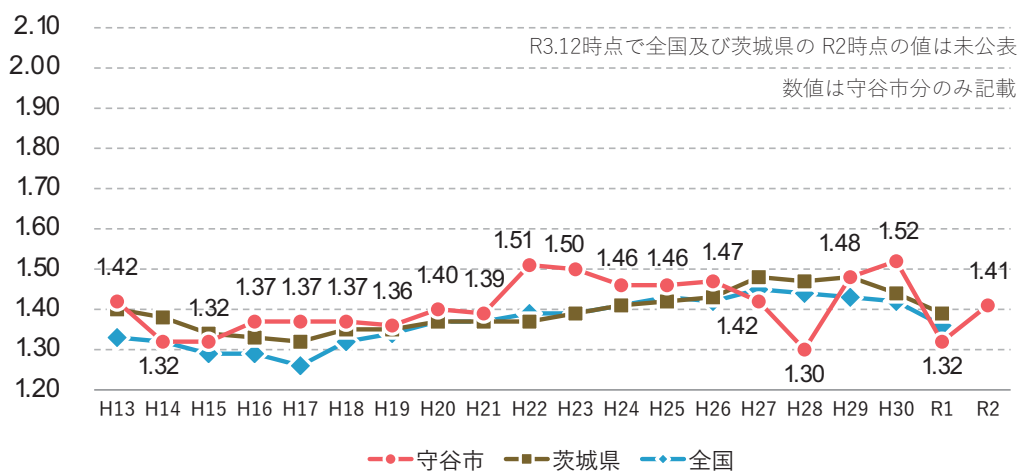
自然動態（出生数・死亡数）の推移

資料：常住人口調査



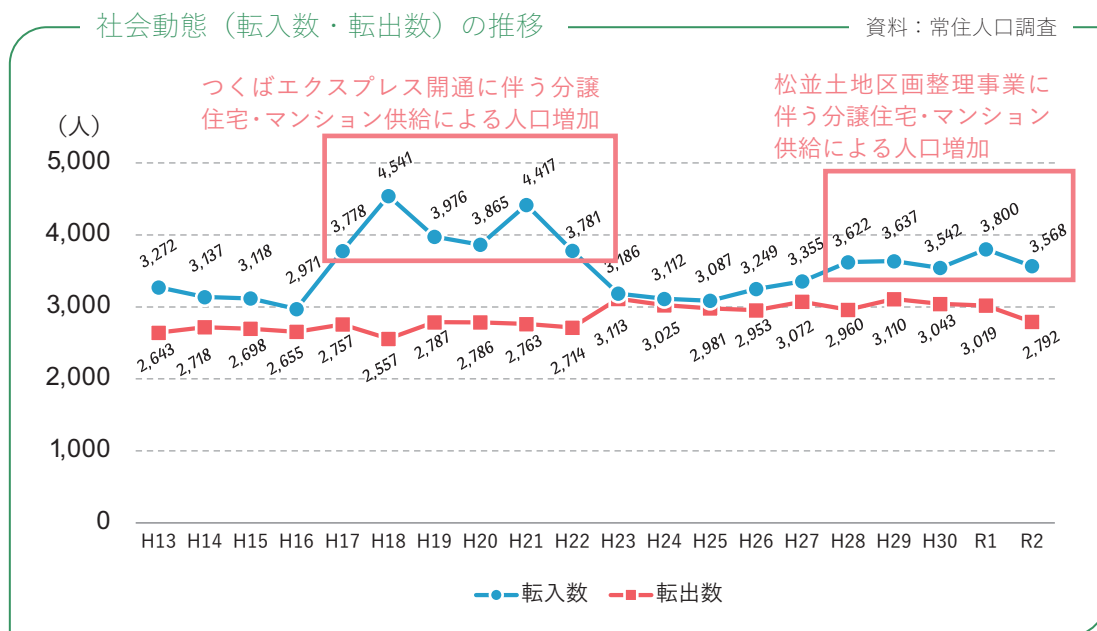
合計特殊出生率の推移

資料：常住人口調査



3 社会動態の状況

本市の転入数、転出数の推移は、平成 16 年～平成 22 年にかけて、つくばエクスプレス開通に伴う分譲住宅・マンション供給により、短期・集中的に転入数が増加しました。その後、つくばエクスプレス開通前の水準に戻ったものの、松並土地区画整理事業に伴い、転入数が増加しました。



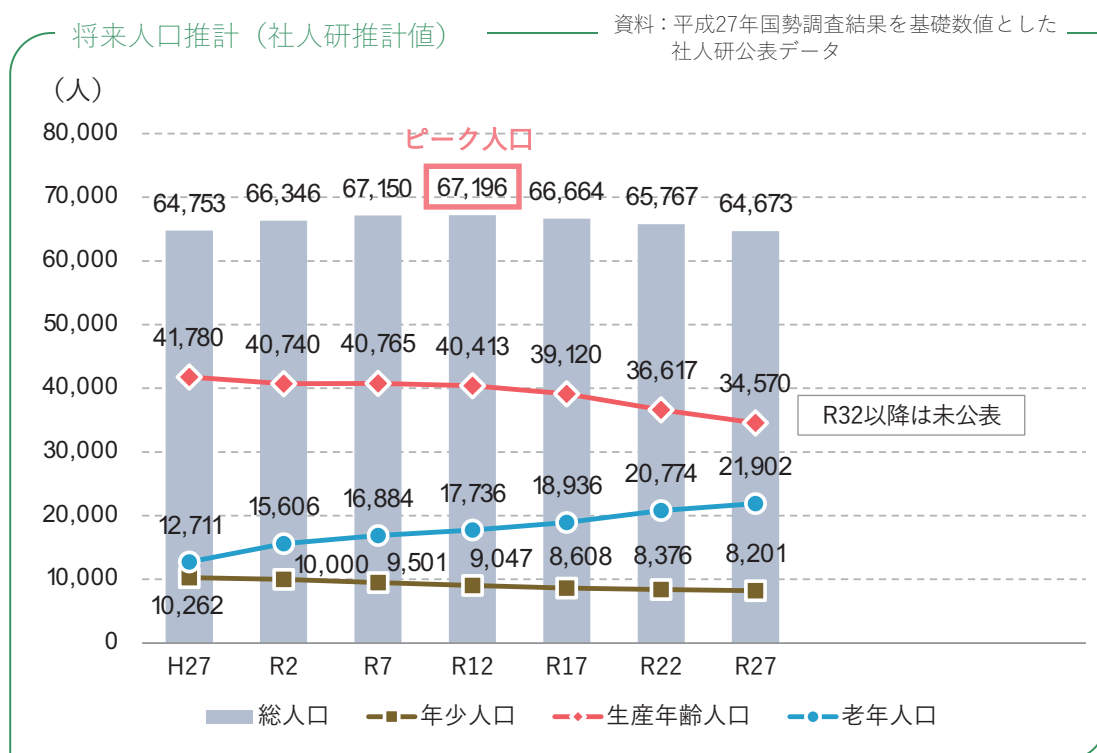
02 将来人口推計

1 人口推計

1.1 社人研による将来人口推計

平成 27 年の国勢調査結果を基礎数値とした社人研[※]の将来人口推計によると、守谷市の将来人口は、令和 12 年までは増加傾向にありますが、その後は減少に転じます。

この推計では、令和 2 年時点の将来人口は 66,346 人であるのに対し、令和 2 年の国勢調査による実績値は 68,421 人であり、推計値より約 2,000 人上回っています。これは、これまでの各種取組の成果による人口増加と想定されます。



注釈：付属資料で、将来人口推計の流れについて説明しています。

1.2 守谷市の実績等を反映した将来人口推計

社人研推計を踏まえ、令和2年の国勢調査実績等を反映した本市独自の将来人口推計を行いました。本推計にあたっては、合計特殊出生率は本市の令和2年の実績値である1.41とし、令和42年まで維持することを条件としました。また令和2年の男女別人口は、実績値である令和2年国勢調査結果を使用しています。

さらに、社人研推計には今後予定されている住宅などの大規模開発による計画人口が加算されていないため、下記に示す住宅開発による計画人口を加算して独自推計を行いました。

■ 守谷市独自推計における各種条件

【条 件】 ●合計特殊出生率（守谷市で独自に設定）【1.41 維持】

●生残率※（社人研推計に準じる）

●純移動率※（社人研推計に準じる）

●移動数（守谷市で独自に設定）【加算する住宅開発①②】

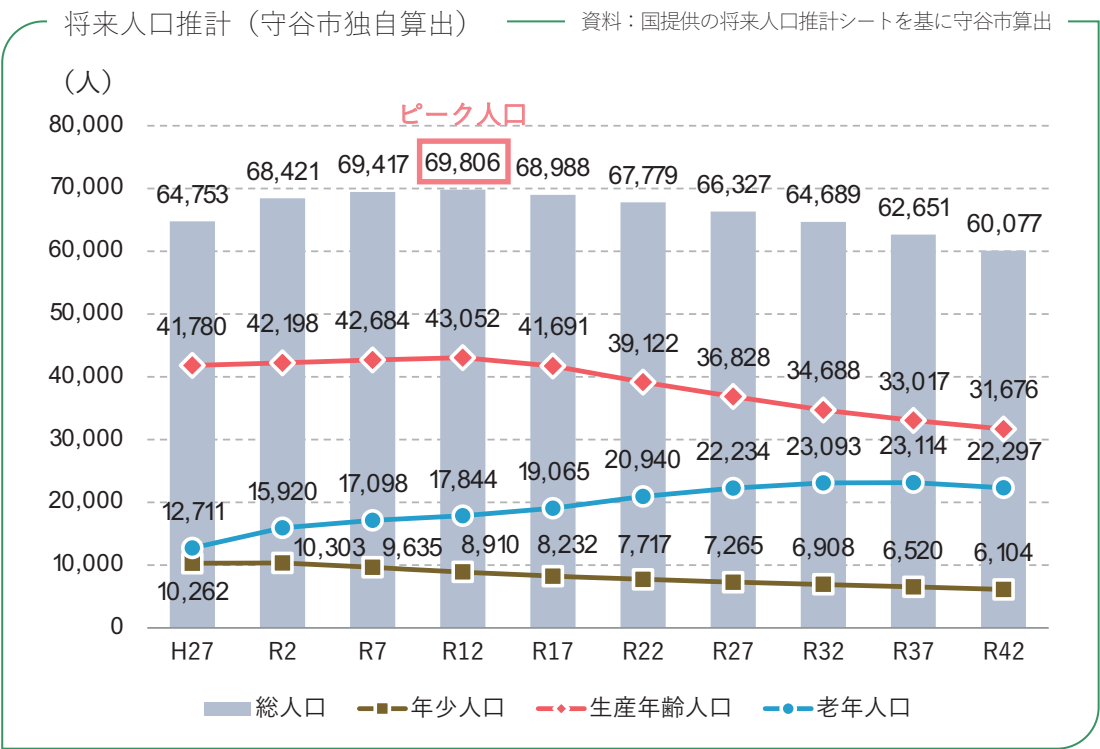
●出生男女比※（0～4歳）（社人研推計に準じる）

加算する 住宅開発	①：松並土地区画整理事業地における開発人口																																														
	計画人口5,000人を想定している当地区開発は、整備当初から順次入居が進んでおり、現在4,000人が常住している。 そのうち、約4分の1が市内からの転居によるものであることから、今後も同様の傾向を見込み、残りの計画人口1,000人に対して4分の3に当たる750人を以下のとおり各年の社会移動数に加算した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="2">令和7年</th><th colspan="2">令和12年</th></tr> <tr> <th>男性(人)</th><th>女性(人)</th><th>男性(人)</th><th>女性(人)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0～4歳</td><td>38</td><td>38</td><td>38</td><td>38</td></tr> <tr> <td>5～9歳</td><td>37</td><td>37</td><td>37</td><td>37</td></tr> <tr> <td>25～29歳</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td></tr> <tr> <td>30～34歳</td><td>28</td><td>29</td><td>28</td><td>29</td></tr> <tr> <td>35～39歳</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td></tr> <tr> <td>40～44歳</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td><td>28</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>187</td><td>188</td><td>187</td><td>188</td></tr> </tbody> </table>					令和7年		令和12年		男性(人)	女性(人)	男性(人)	女性(人)	0～4歳	38	38	38	38	5～9歳	37	37	37	37	25～29歳	28	28	28	28	30～34歳	28	29	28	29	35～39歳	28	28	28	28	40～44歳	28	28	28	28	合 計	187	188	187
	令和7年		令和12年																																												
	男性(人)	女性(人)	男性(人)	女性(人)																																											
0～4歳	38	38	38	38																																											
5～9歳	37	37	37	37																																											
25～29歳	28	28	28	28																																											
30～34歳	28	29	28	29																																											
35～39歳	28	28	28	28																																											
40～44歳	28	28	28	28																																											
合 計	187	188	187	188																																											

加算する 住宅開発	②：その他の開発人口																																									
	新守谷駅周辺において計画されている土地区画整理事業や民間の大型集合住宅建設による流入を加味し、下記のとおり社会移動数を加算した。																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="2">令和 7 年</th><th colspan="2">令和 12 年</th></tr> <tr> <th>男性(人)</th><th>女性(人)</th><th>男性(人)</th><th>女性(人)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0~4歳</td><td>15</td><td>15</td><td>25</td><td>25</td></tr> <tr> <td>5~9歳</td><td>15</td><td>15</td><td>25</td><td>25</td></tr> <tr> <td>25~29歳</td><td>15</td><td>15</td><td>25</td><td>25</td></tr> <tr> <td>30~34歳</td><td>15</td><td>15</td><td>25</td><td>25</td></tr> <tr> <td>35~39歳</td><td>15</td><td>15</td><td>25</td><td>25</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>75</td><td>75</td><td>125</td><td>125</td></tr> </tbody> </table>					令和 7 年		令和 12 年		男性(人)	女性(人)	男性(人)	女性(人)	0~4歳	15	15	25	25	5~9歳	15	15	25	25	25~29歳	15	15	25	25	30~34歳	15	15	25	25	35~39歳	15	15	25	25	合 計	75	75	125
	令和 7 年		令和 12 年																																							
	男性(人)	女性(人)	男性(人)	女性(人)																																						
0~4歳	15	15	25	25																																						
5~9歳	15	15	25	25																																						
25~29歳	15	15	25	25																																						
30~34歳	15	15	25	25																																						
35~39歳	15	15	25	25																																						
合 計	75	75	125	125																																						

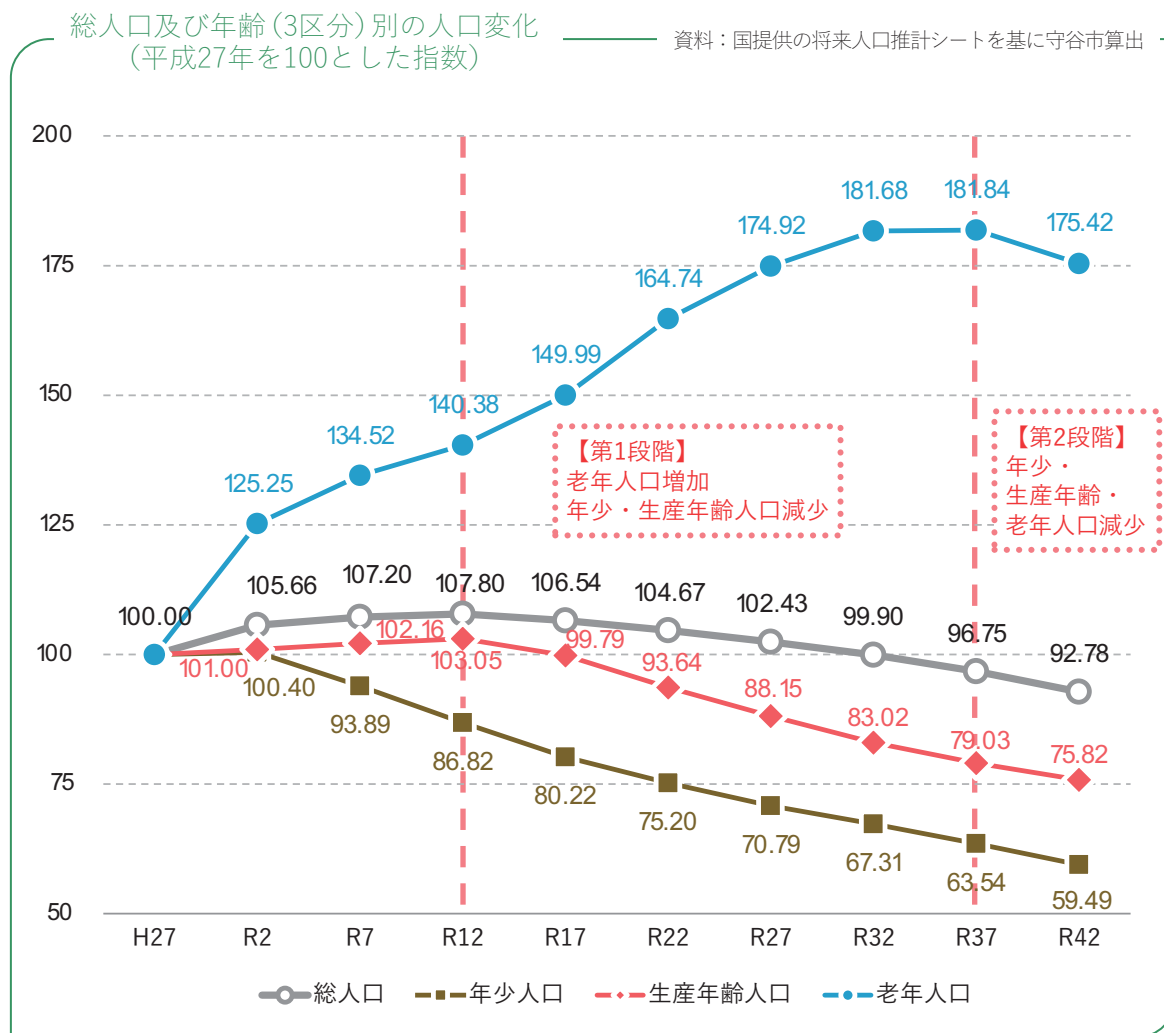
推計の結果、令和 12 年時点で 69,806 人のピーク人口となり、その後は減少に転じ、令和 42 年時点で 60,077 人まで減少することが予想されています。

年齢別でみると、「年少人口」が既に減少局面であり、令和 12 年までの人口増加は「生産年齢人口」及び「老年人口」による増加、それ以降一定期間の人口維持は、老年人口に支えられていることが分かります。老年人口割合は、令和 22 年に 30%を超えると予想され、将来的に深刻な少子高齢化社会に突入すると考えられます。



1.3 守谷市の人口減少段階

実績値を反映した人口推計を基に人口減少段階を整理すると、今後令和 37 年までは、年少人口、生産年齢人口が減少しつつも老年人口は増加を続ける「第 1 段階」ととどまり、それ以降に老年人口も減少する「第 2 段階」に移行するものと予想されます。



2 将来人口の見通し

1で整理した将来人口推計を踏まえて本市の目標人口を定めるに当たり、下記の目標条件による将来人口推計を行いました。

なお、本市の合計特殊出生率は、平成28年の1.30から上昇し平成30年には1.52となりましたが、令和元年は1.32、令和2年は1.41と横ばい傾向にあります。第三次総合計画では、子育て支援のための各種の施策展開及び働く場・訪れる場として魅力あるまちを形成し、現状の合計特殊出生率から回復していくことを目指します。

■将来人口の見通しにおける各種条件

【条件】 ●合計特殊出生率（守谷市で独自に設定）【目標条件①】

●生残率（社人研推計に準じる）

●純移動率（社人研推計に準じる）

●移動数（守谷市で独自に設定）【加算する住宅開発①②】【目標条件②】

●出生男女比（0～4歳）（社人研推計に準じる）

目標条件	①：合計特殊出生率の回復と維持			
	ピーク時である平成30年の合計特殊出生率まで回復することを目指し、令和12年までに1.52まで段階的に上昇し、以降は横ばいで維持していく。			
		令和2年	令和7年	令和12年
	合計特殊出生率	1.41	1.47	1.52
	②：子育て世代の転入促進			
	先進的な教育環境の創出や多様な生活様式に適した子育て環境の整備に関する施策等を実施することで、5年間で300人の子育て世代及びその子どもが転入することを目指し、令和7年から令和42年までの各年の社会移動数に加算した。			
	【対象コーホート】			
		男性(人)	女性(人)	
	0～4歳	30	30	
	5～9歳	30	30	
	25～29歳	30	30	
	30～34歳	30	30	
	35～39歳	30	30	
	合 計	150	150	

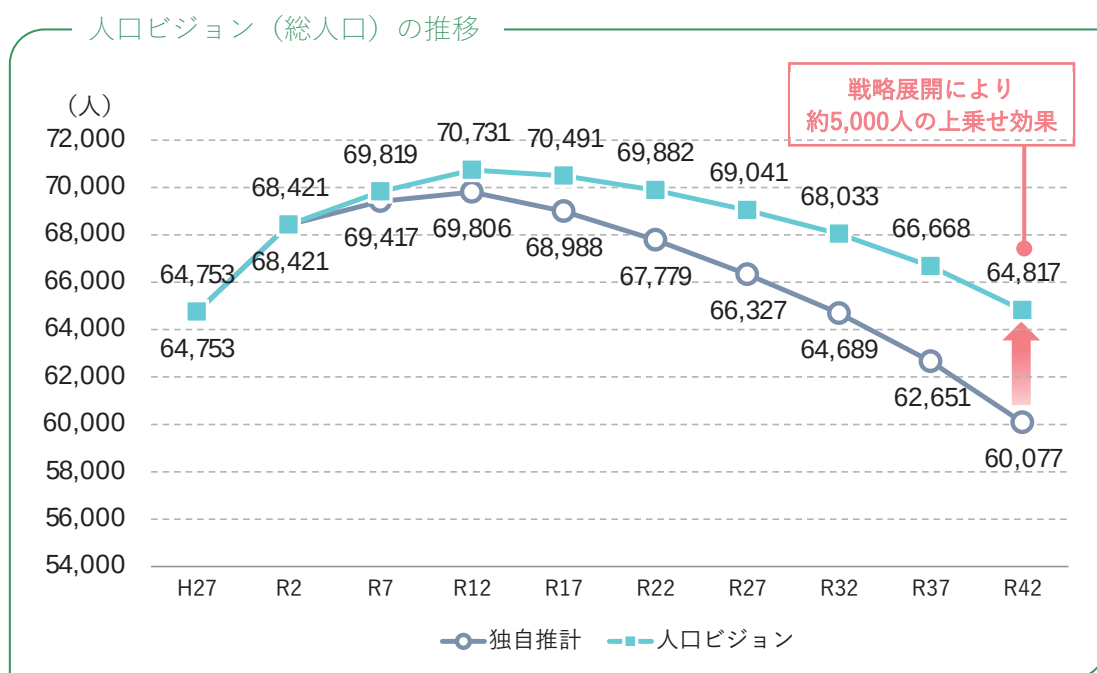
このような目標条件を加味した将来人口推計結果に基づき、本市の人口ビジョンを以下のとおりとします。

人口ビジョン

令和42年に65,000人程度の人口を維持する

令和42年の人口は、現状の合計特殊出生率（1.41）で推移すると60,077人となり、現在の人口から約8,000人減少することになります。

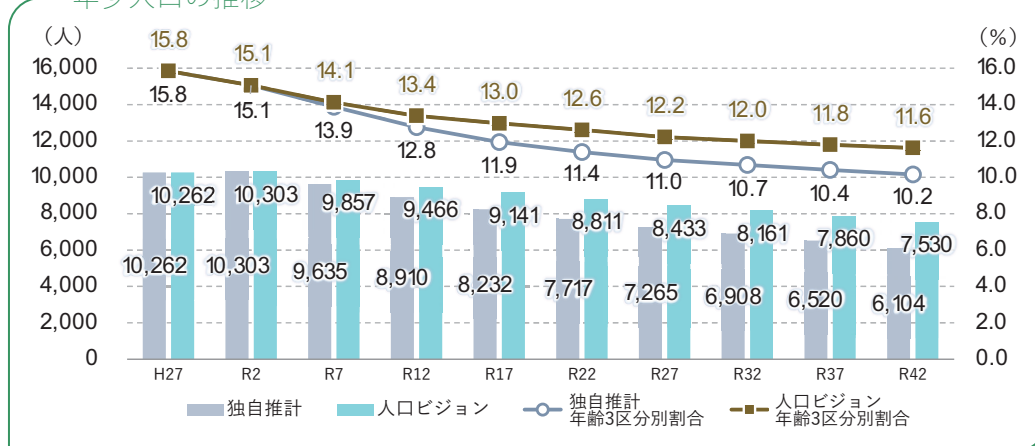
今後、子育て支援の環境整備を充実させ、子どもを生み育てやすい環境の創出や、多様な働き方が実現できるまちの整備、先進的で質の高い教育環境の整備、安心して暮らすことができる地域の形成など、様々な戦略の展開により、約5,000人の上乗せ効果を目指します。



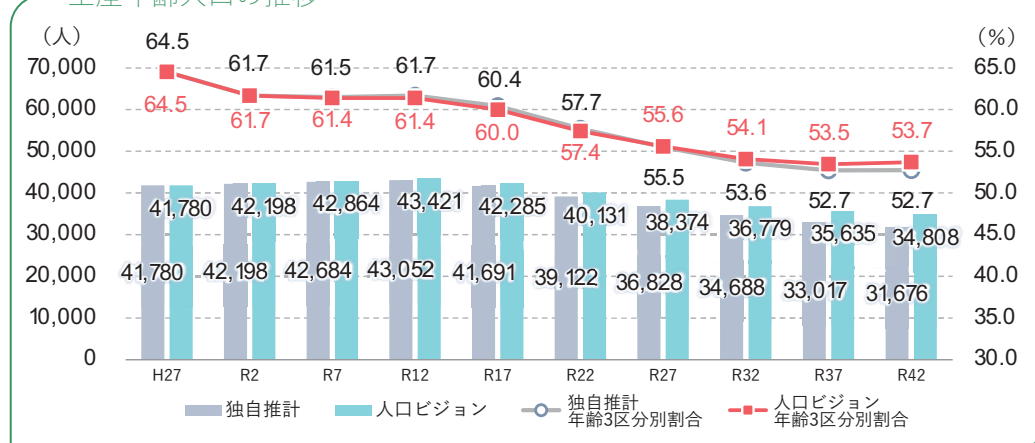
注釈：「人口ビジョン」は基礎推計に目標条件を加味した場合の推計結果を示します。

年齢3区分別では、年少人口は減少傾向の幅が抑えられることとなり、令和42年まで割合が11%以上を維持することとなります。生産年齢人口では、令和17年以降に、団塊ジュニア世代が老年人口に移行することで減少幅が大きくなりますが、各種戦略の展開による子育て世代の転入により、令和37年以降は増加の兆しが見られます。老年人口は、今後も増加傾向にあります。守谷市独自推計と比べ、令和42年時点の割合は2.4ポイント抑えられることが見込まれます。

年少人口の推移



生産年齢人口の推移



老年人口の推移

